※令和４年度以降入学生用

学校番号	２０６

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『高等学校古典探究』（数研出版）						
副教材等	『解法古文単語』（数研出版）、『新修古典文法』（京都書房）、『新修古典文法ドリル編』（京都書房）、『体系漢文』（数研出版）、『体系漢文　準拠ノート』（数研出版）、『力をつける古典　ステップ２』、『まぎらわしい語の識別マスターノート』（数研出版）、『漢文句法マスターノート』（数研出版）、『ＳＰＥＥＤ攻略 10 日間文学史』（株式会社Ｚ会）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

下記の到達目標を達成するために、古典についての知識の獲得し、古典を「読むこと」の能力や国語に主体的に関わる態度を育成しましょう。
評価はペーパーテストや、パフォーマンス評価で行います。
それぞれの単元の目標を意識して日々の学習に取り組んでください。予習・復習も必須です。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（２）論理的に考える力や深く共感したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使っている。	「読むこと」の領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり，思いや考えを深めたりしながら，言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに，言語感覚を磨き，言葉を効果的に使おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	説話 ［教材］十訓抄ほか	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b：［読む］必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している c：積極的に説話が示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・振り返りシートの記入 ・ワークへの取り組み状況
	歌物語 ［教材］伊勢物語他	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている b：［読む］作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c：粘り強く地の文と和歌の関係性を読み解き、今までの学習を生かして本文全体を解釈しようとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・振り返りシートの記入 ・ワークへの取り組み状況
	随筆 ［教材］枕草子ほか	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている b：［読む］文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：学習の見通しをもって本文理解を深めようとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・振り返りシートの記入 ・ワークへの取り組み状況
	思想	a：先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方	・定期考査	・定期考査	・振り返り

※令和４年度以降入学生用

	［教材］孟子ほか ［教材］ ［教材］	を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b:［読む］「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c:諸子百家の文章から現代に通じる考え方を粘り強く見い出そうとしている。	・ワークへの取り組み状況	・ワークへの取り組み状況	シートの記入 ・ワークへの取り組み状況

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
2	物語 ［教材］源氏物語	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読む]:文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:登場人物の考えや心情を読み取ろうとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・振り返りシートの記入 ・ワークへの取り組み状況
	歴史物語 ［教材］大鏡	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読む]:文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:登場人物の考えや心情を読み取ろうとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・振り返りシートの記入 ・ワークへの取り組み状況
	史伝 ［教材］史記 ［教材］ ［教材］	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めるている。 b[読む]:文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:本文から読みとった項羽や劉邦の人物像を踏まえて、作中の行動の経緯・理由を粘り強く考察している。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・振り返りシートの記入 ・ワークへの取り組み状況

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
3	軍記物語 ［教材］平家物語	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読む]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：登場人物の考えや心情を読み取ろうとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・振り返りシートの記入 ・ワークへの取り組み状況
	日記文学 ［教材］建礼門院右京大夫集ほか	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読む]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：登場人物の考えや心情を読み取ろうとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・振り返りシートの記入 ・ワークへの取り組み状況
	漢文の散文 ［教材］楚辞ほか ［教材］ ［教材］	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めるている。 b[読む]：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c：文章の要旨や論理の展開を粘り強く考察しようとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・振り返りシートの記入 ・ワークへの取り組み状況

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　０　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間